

ふの互に見えなくなるまで猛練習を勵んだ。力も力だ、然し本年殊に体格の悪い此のクルーを以てしては到底敵し難く思はれた。それ故に我等にあるもの唯だ意氣と努力だけだ。所謂赤鬼魂あるのみだ。

我等が信任して止まぬ部長の奮勵と、コックスの怒聲オール持つ手に血をにぢませし戦友が相共に勵まし合つて石場ヶ濱の戦目指して頑張つた。疲れた体を横たへては結ぶは戦勝の日の夢だつた。

かくて爽竹桃の花咲けば愈々戦はん哉時機到る。我等は諸君の熱烈なる應援に送られて勇ましく兵を進めた。

用意!! ズドン!! もう無我夢中だつた。コックスの怒聲、奮勵の聲頭にきらめくものは學校の爲めに、歴史の爲めに。強引!! ズドン!! だのに、噫!! 畜生負けたんだ。負けたんだ。涙聲をふり絞つて「何だつてしつかりやられんだ」コックスが、その聲を聞く俺には自分一人の責任としが思へなかつた

てゐる。

夕日の湖上より屹立する我等がシンボル金龜城の白壁を仰ぎながら練習を終へて彦中の應援歌や「我は海の子さすらひの」を歌ひながらオール持つ眞黒な腕を自慢らしく漕ぎ歸りし時よ。

私にもう一度漕ぎたい、歌ひたい、泣きたい。嗚呼夢ゆたかなりし金龜ヶ丘の五年間よ。私はポート部員たりし時の愉快さを思ひ出して此の楽しい丘を去らんとす。健兒よ。我が歴史あるポート部の爲めにやつて下さい。さらば、諸君の健全なれかしと祈つて拙筆を擱く。

(一九三一・十一・下旬)

野球部々報

失望と疲労だがそれよりも輝く歴史を傷つけしことを……どうすればよかつたか。熱い涙が溢れ流れるのみ。

そして曾ては我等の先輩が比叡の山を焼きながら沈み行く光景を勝利に喜びながら眺めたであろう。あの太陽を、山を黒くかすみ行く湖上を、私は敗軍の身を車窓によりかゝりながらどつそ無念の涙に煙り、見はなくなるまで……

怨みぞ多き石場ヶ濱。恐らくクルーの人達も同じだつたらう。此の怨み、諸君きつこ晴らして呉れ。

夏休みも過ぎた我々は懸命に新部員編成にかまつた。

赤鬼魂を有す諸君の中には自ら入部してくれる人もあつた。來年度のクルーはさうなつた。けれど未だ不足してゐる。秋丁字を聴くや依然新しいクルーは練習を勵みつゝある。

「あま!! 百本」元氣にバツク臺で、私は頼

もしく思つた。そうだ、その意氣で。熱き血と努力で最後まで。

私は信ずる此等の意氣に燃ゆる人々はきつこ仇をこつて輝く歴史を有する彦中端艇部の爲めに奮闘せられる事を。

六百の健兒よ、諸君はきつこ愛校心に燃え立ち彦中ポート部の爲めに奮起せられん事を私は切望して止みません。

次に私は敢へて苦言を呈したい。

諸君の中にはポート部は非常につらいものだと思つて居られる人もある様だが、それは誤りだ。眞にスポーツを解しない人だ。赤鬼魂の何たるかを知らない人だ。實際つらることもある。私も練習中泣いた。だが諸君頑張つた時、苦しんだ時泣く男の涙ほど尊いものがあるだらうか。自ら苦しみと闘つて行くこの男子の本懐とする所だ。ポートを漕ぐのほど男性的なものはないだらう。熱き意氣と力の戦ひだ。

私はポート部へ入つた事は良かったと思つ

部長 宮原先生
理事 平井清先生

石坪先生
居井先生

選手

(主將) 近藤專太郎

木下平三郎 上池賢次郎

四年 松居敬三 布施一男

堤彰正

三年 原重信 林寛

小川福太郎

二年 西川寛一 高橋殿三

吉川爲雄 中辻政造

村田幸夫 苗村正逸

一年 木野戸勝彦

嗚呼、慘々たる哉。かへり見よ、吾が球史を!

雪深き金龜の天地にも春光照る長閑な頃よ
り時雨降る前走まで練習を續け、數多の犠牲
數多の苦痛にも拘泥せず我が光輝ある彦根中

學の爲、我が歴史ある野球部の爲に全力を盡しました。

然し乍ら、血涙幾度か綠ヶ丘原頭を濕し、本年再び尾花川原頭で惜敗し、赤旗幾度か捲いて京洛の諸君に屈服を甘受せしか?。

赤鬼魂は、何處へ失ひしか。彦中獨特の精神とは何ぞや?。

諸君の胸裡には必ずや、赤鬼魂の萌芽はあ
るのです。

奮へ諸子よ、起て諸君よ、彦中精神を育
め。

我校校友會各運動部の不振を如何にするか
「選手不足」それは、各部通じて不振の一
大原因である。

諸君!! 各部を復活せしむるは諸君の義務
です。

彦根中學には近時犠牲的精神が缺けて居
ります。

それは、時勢がしからしめたのでせう。
犠牲をはらへ、苦痛を忍べ!! そうして、

一は吾等母校の爲、一は諸君等の身体健全の爲に、一日も早く入部されん事を去る日に臨んで切に希望致します。

さらば吾が彦中野球部よ。
後輩、諸君の御健康御多幸を祈り、選手諸君の舊年に倍加して、球界へ猛進されん事を御祈り申します。

縣下リーグ戦の記

第一回戦 本校對長濱商業

春光たなびき雪解け初める初春、野球シーズンに來たれり。四月十八日、湖國球界の幕は切つて落された。

この日快晴にして若葉萌ゆる長濱商業球場に於て午後二時本校先攻球審根商業岸田、壘審北川兩氏のもとに試合開始。

第一回(本校) 一番打者松居四球に出で木下三振、續く上池、近藤、布施、西川、林、佐藤、原共に四球に出で打者一週し松居再び四球に出でしも木下の二匍にやむ。然し此の回

最初より五點を挙げ意氣大いに上る。

(長商) 大野、西島、川村三者共に四球に出で、若山三匍意投に生き大野西島二者生還の後熊谷三振に打取りしも松田又も四球に出で一死満塁となり、佐藤のインフィールドフライ

續く中川(正) 四球にて川村生還せしも中川(稔)の捕匍に空し(本校五、長商三)

第二回(本校) 上池三失に生き、近藤、布施共に中飛、布施の中飛で上池一二壘間で刺さる。

(長商) 大野二遊間を突く安打に出で、西島三振。川村三匍續づく若山四球、熊谷三失で遂に安打となり、大野生還佐藤四球に出で、若山生還。投手悪投に熊谷相續いて生還せしも、中川(正)の三振に止む。然し堂々三點を上げ六對五本校一點を勝ち越さる(本校〇長商三)

第三回(本校) 西川四球に出でしも、續づく林三振。西川二盗を企てしも効を奏せず寸前に刺さる。佐藤三振

(長商) 中川(稔) 四球に出で、大野三飛西島三失に生き、川村も亦二失に生きしも、中川二三壘間に刺さる。續づく若山中飛(兩軍〇)

第四回(本校) 原二匍、松居二失に出で木下の中前安打に二進し上池の左翼越大三壘打に松居、木下相續いて生還近藤三失に生きしも布施一匍西川遊匍に空し然し三點を返し六對八又も本校二點勝ち越し追ひつ追はれつの大接戦なり。

(長商) 熊谷三失に生き、松田四球、續く七番打者佐藤三振せしも、中川(正) 中川(稔) 大野三者四球に出で熊谷松田生還し西島の三振に二アウトとなりしも、川村中堅越二壘打に出で中川(正) 中川(稔) 相共に生還若山四球、熊谷亦も三遊間安打を放ち大野、川村熊谷生還續づく松田四球に出で、佐藤の一匍中川(正) 遊匍に終る。一舉七點(本校三、長商七)

第五回(本校) 林三匍佐藤四球に出で、原中

前安打に出でしも林おしくも二壘に刺さる。松居の遊匍に空し

(長商) 中川(稔) 左前安打に出で、左翼惡投に二進し大野三壘橫安打。西島遊失に内野安打となり、中川生還三番打者川村四球に出で、無死満塁の好機となり若山の左中間二壘打に大野、西島、川村續々生還せしも熊谷中飛松田三振佐藤一匍にやむ(本校〇、長商四)

第六回(本校) 木下二匍、上池三遊間安打に出でしも近藤左飛布施四球續く西川の二飛に空し。

(長商) 中川(正) 三振中川(稔) 四球に出で、一番打者大野三振。續く西島の右飛に終る(兩軍〇)

第七回(本校) 林三振續く佐藤四球に出で、二盗を企て二壘寸前に刺され原三振。

遂に十七A對八にて凱歌長商軍に擧る。本校追撃、亦追撃よく戦ひしも四球餘りに多く敵の安打續出に惜くも敗北せり。閉戦時に四時卅五分なり

校	居下池藤	施川	藤
本	松木上近布	西林佐原	
2	3	8	6
8	4	5	12
4	5	0	4
12	0	4	0
0	4	0	4
4	1	4	9
9	5	1	9
4	4	4	4

長商 大西川若熊松佐川中川
6 2 8 3 5 7 1 9 4 4

二壘打 川村、若山
三壘打 上池
試合時間 二時間三十五分

第二回戦 本校對彦根商業
四月廿六日好野球日和なり。午後より彦中彦商の好試合を見んものと大觀衆本校球場につめかく。

午後二時卅五分本校々庭に於て球審原、壘審大谷兩氏のもとに彦根商業の先攻のもとに戦の幕は開かれた。

第一回(彦商) 近藤四球に出で、日比の二遊間安打に二進し堀の二失に近藤生還せしも續

く大橋、若林共に三振

(本校) 松居右飛木下四球に出で、近藤二失上池三飛で二アウトとなりしも、布施四球で二死満塁の好機となり清水の内野安打に木下近藤相共に生還せしも、七番打者林三振(彦商一、本校二)

第二回(彦商) 小堀二匍、前川中飛に續く中村、西村共に四球に出でしも近藤の遊匍に空し。

(本校) 佐藤四球、原の三失に續く松居四球に出で木下一匍に佐藤刺さる。近藤四球上池の中前安打に原、松居生還布施左失に生き清水四球に近藤生還し、林の左中間安打に上池布施生還打者一順し佐藤、原相續いて四球に出で、清水生還せしも松居の遊匍に止む(彦商〇、本校六)

第三回(彦商) 日比四球、堀二遊間安打に出で、續く大橋左翼二壘打に堀生還若林四球に出で、六番打者小堀の三遊間安打に大橋本壘を突き刺さる。前川の二飛にやむ。

(本校) 木下投術、近藤三匍上池遊術に凡退す(彦商一、本校○)

第四回(彦商) 中村三振、西村二匍一失に生き近藤四球續く日比三振せしも堀中失に進み近藤生還大橋の三匍に終る。

(本校) 布施左中間安打に出て二盗を企て効を奏せず刺さる。續く清水遊術林投術に空し(彦商一、本校○)

第五回(彦商) 若林遊術小堀四球に出でしも前川三匍中村三振に凡退。

(本校) 佐藤三振、原四球松居二遊間安打に出でしも原借しくも二壘に封殺さる。續く二番打者木下三匍一失に進み、近藤四球上池中堅越二壘打に松居、木下共に生還二點を擧ぐ次の布施の投術に終る(彦商○、本校二)

第六回(彦商) 西村中前に安打に投手悪投に二進し近藤一飛日比四球堀三振。大橋遊失に生き西村生還せしも若林の三振にやむ。

(本校) 清水投術一失に生き林四失に生きしも、清水封殺す佐藤内野安打に出でしも、原

の遊術に凡退す(彦商一、本校○)
第七回(彦商) 小堀三振、前川投術中村三振に凡退。

(本校) 松居中前に安打して出でしも、木下一匍松居二盗せしも刺さる。續く近藤投術に空し(兩軍○)

第八回(彦商) 西村二飛近藤三振日比四球に出でしも、堀の遊術に封殺さる。

(本校) 上池遊術、布施二匍清水左飛に凡退(兩軍○)

第九回(彦商) 大橋三振、若林遊術にニアウトとなりしも小堀遊失に生き前川四球に出で好機来たれども、中村の三振に空し。

閉戦時に五時十分。	
校	居下藤池施水藤
本	松木近上布清林佐原
32	2
10	3
6	6
2	8
2	1
10	9
2	4
1	7
0	5
1	0
0	4
1	0
0	4
4	4

二者生還せしも、松波三振にやむ(本校四、虎中三)

第二回(本校) 佐藤、原共に三振し、松居四球に出でしも木下の二匍に凡退。

(虎中) 松川三振、川崎遊術續く釋種投術に凡退(兩軍○)

第三回(本校) 近藤遊失に生き、上池の中間安打に二進せしも布施三匍西川四球に出で、近藤生還續く林、佐藤共に三振し上池二壘に殘壘。

(虎中) 久保田四球松田補失に生き、森二飛長谷川遊術に死しニアウトとなる。

次七番打者稻葉左中間に二壘打を放ち、三失に三進す久保田、松田二者生還す。松波遊失に生き、稻葉生還し松川の三振にやむ。

(本校一、虎中三)
第四回(本校) 原三匍松居四球に出でしも、木下投術近藤の遊術に空し。

(虎中) 一番打者川崎四球に出で、釋種中前に飛球を放ち中失に生く。久保田三振せしも

藤比 橋林堀川村
商 近日堀大若小前中西
彦 6 3 7 1 5 8 4 9 2

本校 2 2 6 0 0 2 0 0 0
計 1 2 3 4 5 6 7 8 9
彦商先 1 0 1 2 0 1 0 0 0
二壘打 上池、大橋

第三回戦 本校對虎姫中學
晩春五月三日、日本晴にして、球場状態もよく本校先攻にて球審岡本、壘審西島兩氏の

もとに午後二時十分試合開始。始終物すごい打撃戦にて追ひつ追はれつの大接戦。

第一回(本校) 松居左前二壘打に出で、二失に三進し木下デットボールに出で近藤三振せしも、上池遊失に生き布施四球松居生還續く西川三失に生き木下生還投手悪投に上池生還

西川三進し次の林三振せしも、其の寸前西川本壘を突いて生く。
(虎中) 川崎、釋種、久保田、松田相續いて四球に出で、川崎まづ一點を擧ぐ。森三振せしも長谷川一失に稻葉四球にて釋種、久保田

松田中堅二壘打に川崎生還せしも、森の中飛に終る。釋種、松田共に殘壘(本校○、虎中一)

第五回(本校) 上池三遊間安打を放ち布施の四球に二進し西川投術林遊術に出で、補失に上池生還。佐藤に代つた大照左前安打に出で布施生還せしも原の遊術にやむ。

(虎中) 長谷川遊術續く稻葉四球松波三振松川、川崎再び四球に出で釋種左翼打大三壘打に稻葉、松川、川崎三者生還せしも釋種本壘を突いて惜しくも寸前に於て刺殺さる(本校二、虎中三)

第六回(本校) 一番打者松居二飛續く木下左翼二壘打に出で、近藤のまたも右中間二壘打に木下生還。上池中堅越二壘打に近藤生還布施投術西川一二壘間を突く安打に出で、次の

七番打者林左前安打に上池生還大照デットボールに出でしも、原の投術に終る。然しこの回憤然總攻撃に出で三本の三壘打と二本の安打によつて、堂々三點を擧ぐ。

(虎中) 久保田三遊間安打に出で、松田の二失に二進し續く森再び遊失に生き、無死滿壘の好機となる。長谷川三振稻葉の三遊間安打に久保田、松田相續いて生還。松波三飛松川三振に空し(本校三、虎中二)

第七回(本校) 松井遊術木下、近藤共に三振(虎中) 川崎右中間二壘打に出でしも、釋種の左前安打に三本間にはさまれて刺さる。久保田遊失に生き、松田四球、續く森中前に大飛球を放ち中堅手これを失して久保田、松田生還長谷川の投術に終る(本校○、虎中二)

第八回(本校) 上池遊術、布施三失に生き西川遊術強襲安打に布施刺さる。林中前安打大照四球滿壘なれども原の遊術に空し。
(虎中) 稻葉三匍、松川、松波共に三振(兩軍○)
第九回(本校) 松居、木下四球に出で近藤の右前二壘打に松居生還續く上池デットボールに無死滿壘となり布施、西川、林共に四球に出で木下、近藤、上池共に生還し十四對十四

の同点となり、大照二—三の時投手四球連投に観衆喊聲を上げ投手投球せず、虎中應援團も騒ぎ出し試合中止となり球審、壘審及兩軍ベンチコーナの立會に相談なり本校に凱歌擧がる。

時に五時廿分。

中	居下藤	池施川	藤照
彦	松木近	上布西林	佐(大原)
打數	23	1(6)	8
得點	14	1	7
安打	8	1	4
三振	11	7	4
四球	11	6	3
盗壘	1	2	0
殘壘	1	0	6
失策	4	1	0
本壘打	2	3	0
合計	14	14	14

四月二十一日彦根高商球場に於て、高商と練習試合を行ふ。

高商	彦	中	打數	得點	安打	四球	三振	盗壘	殘壘	失策	本壘打
5	2	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0
1	3	2	1	0	2	1	0	0	1	1	0
6	1	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0
7	3	3	1	1	0	0	0	0	1	0	0
3	2	1	0	3	0	0	0	0	1	0	0
9	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
8	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
4	2	3	0	1	0	2	0	0	0	1	0
2	2	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0
合計	21	4	5	4	2	0	4	4	1		

高商	彦	中	打數	得點	安打	四球	三振	盗壘	殘壘	失策	本壘打
9	5	2	2	0	1	1	0	0	1	1	0
4	4	1	2	2	0	0	0	0	1	0	0
6	4	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0
7	3	1	0	2	1	0	0	0	1	0	0
5	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
3	3	1	2	1	0	0	0	0	1	1	0
8	4	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0
1	2	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0
2	4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	29	10	11	5	3	2	6	3	1	1	

敗となり長濱商業と同位なる故再び五月廿三日長商球場に於て戦ふ。

本校先攻岡本氏球審のもとに試合開始。

第一回(本校)布施四球木下一匍、松居中飛失に生きしも上池遊歩近藤三振に終る。

(長商)西島遊歩中川(稔)二飛大野四球に出で、川村の三振に空し(兩軍〇)

第二回(本校)清水四球林、原共に三振に凡退す。

(長商)若山中堅に二壘打を放ち續く熊谷中飛松田三飛にたおれ佐藤二匍惡投に生き若山生還中川(正)の一匍にやむ(本校〇、長商一)

第三回(本校)西川一失に生き二進し、一番打者布施四球木下三振松居の三匍に西川生還上池の三振に終る。

(長商)西島四球中川(稔)遊失に生き、大野中堅越二壘打に中川生還。西島は先に二壘に封殺さる川村二失若山四球で一死滿壘の好機となりしも續く熊谷の投匍に大野本壘に刺さる。松田デットボールに出で川村生還佐藤

投匍一壘惡投に若山、熊谷共に生還次の九番打者中川(正)遊失に生きて松田、佐藤の二者を生還せしむ。西島二匍然し長商好機を掴み打者一順し六點を挙げ計七點となる。

第四回(本校)近藤四球に出で、清水の二壘飛球にたおれ二アウツの後林四球に生きしも原の三飛に空し。

(長商)中川四球に出で、大野の二匍に二進せしも、續く川村、若山凡打に凡退。(兩軍〇)

第五回(本校)西川遊歩布施二遊間安打に出で、木下の二匍に二進し松居四球上池二壘強襲安打に布施、松居生還せしも上池二壘を突いて憤死す。

(長商)熊谷一匍松田三失に生き佐藤四球に二進又も中川(正)二失に出でしも西島遊歩に佐藤、中川殘壘(本校二、長商〇)

第六回(本校)近藤四球清水中飛林二失に生き續く原、西川共に四球にて近藤生還し一死滿壘の好機又も布施四球木下一失に生き林、

原二者生還松居三匍惡投に生き布施一擧生還せしも上池の遊飛に空し。此の回我が軍好機を著々と掴み遂に五點を挙げ計八點となる。

(長商)中川二失に生き、次の三番打者大野四番打者川村共に二壘打を左中間に放ち中川大野生還。若山中前安打に出でしも熊谷三振松田四球佐藤投匍、續く中川の一匍にやむ(本校五、長商三)

第七回(本校)清水、近藤共に四球に出でしも林三振原の二匍に近藤猛然本壘をおそひ生還す、西川三飛。

(長商)西島左飛、中川中飛大野四球に出で投手惡投に二進し更に盜壘。再度の投手惡投に生還川村の三振にやむ。

(本校一、長商〇)

第八回(本校)布施四球に出でしも、續く木下遊歩松居、上池共に三匍に凡退す。

(長商)若山三失に生き熊谷中飛松田三振佐藤四球に生き中川の三振に凡退す。(兩軍〇)

第九回 近藤三振清水四球に出で林の一二壘

原二者生還松居三匍惡投に生き布施一擧生還せしも上池の遊飛に空し。此の回我が軍好機を著々と掴み遂に五點を挙げ計八點となる。

間二壘打に近藤生還し十一對十となり、得點の差後一點……續く原、西川共に投制に空し遂に我が軍に好機到らず十一A對十にて惜敗す。

長	商	彦	中
本校	2	西	鳥
回数	6	中	川
長商	0	大	野
	1	川	村
	2	若	山
	3	熊	谷
	4	松	田
	5	佐	藤
	6	中	正
	7		
	8		
	9		
	10		

此の日晴天にして、初夏の風たよふ彦根高商球場に於て大津商業と戦ふ。球審深海氏
試合時間三時四十分

彦根高等商業學校主催 近府縣中等學校野球大會之記

彦根	高商	打	得	安	盜	四	三	殘	失	二	三	彦	中	打	得	安	盜	四	三	殘	失	二	三	
8	鴨	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	布	施	3	2	0	1	2	0	1	1	0	
1	西	3	1	2	4	2	1	2	0	0	0	8	木	下	3	0	0	0	2	1	1	0	0	
2	深	3	2	0	3	2	0	2	0	0	0	6	松	居	5	2	1	1	0	1	0	0	1	
7	雨	5	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	上	池	5	0	1	0	0	0	0	0	0	
6	鈴	4	1	0	0	1	2	1	3	0	0	4	林		3	0	0	1	1	0	2	0	0	
4	樋	3	1	0	0	1	1	1	0	1	0	1	近	藤	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0
9	吉	3	1	0	2	1	0	1	1	0	0	7	西	川	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0
5	山	1	1	0	1	3	0	3	1	0	0	9	高	橋	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0
3	村	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	5	原		3	0	0	0	1	0	1	1	0	
		30	8	3	11	11	4	11	4	1	1				31	4	2	3	7	3	9	3	1	

六月廿五日日本校々庭に於て、彦根商業と練習

大	商	打	得	安	盜	四	三	殘	失	二	三	彦	中	打	得	安	盜	四	三	殘	失	二	三
2	井	5	2	2	0	0	0	0	0	0	1	6	近	藤	4	0	1	0	0	1	0	0	0
6	上	5	1	2	0	0	2	0	1	1	0	3	木	下	4	0	0	0	0	0	0	0	0
3	大	4	1	2	1	0	0	0	1	0	0	2	松	居	4	3	0	0	0	3	0	0	0
9	森	4	2	0	0	1	2	0	0	0	2	8	上	池	3	0	0	0	0	0	0	0	0
7	吉	4	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	布	施	1	0	0	2	0	1	0	0	0
1	藤	4	1	0	0	1	1	0	0	0	0	4	林		3	1	0	0	0	1	0	2	
4	勝	4	1	0	0	2	0	0	0	0	0	5	原		2	1	0	0	0	0	0	0	1
8	勝	3	1	2	1	0	0	0	0	0	0	9	清	水	3	0	0	0	1	0	0	0	4
5	澤	4	1	2	0	1	0	0	0	0	0	7	西	川	3	1	0	0	1	0	0	0	0
	小	4	1	2	0	1	0	0	0	0	0												
	計	36	11	12	3	6	6	0	2	1	3												

試合を行ふ。球審吉田、壘審津田

彦	中	打	得	安	盜	四	三	殘	失	二	三	彦	中	打	得	安	盜	四	三	殘	失	二	三
3	布	4	1	0	1	0	0	1	0	2	0	6	近	藤	3	0	0	0	0	2	0	1	0
8	施	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	大	堀	4	0	1	0	1	0	0	3	0
6	木	3	0	0	0	1	3	1	2	0	0	7	若	林	4	1	0	2	0	1	0	1	1
2	上	4	1	0	0	0	1	1	0	1	0	5	小	堀	3	0	1	0	0	2	1	1	0
1	近	4	0	0	0	0	1	1	2	1	0	8	日	比	3	1	1	0	0	1	1	0	0
4	林	4	1	1	0	0	0	1	0	1	0	3	前	川	4	0	0	0	0	0	2	0	0
7	西	3	1	0	0	0	0	1	1	2	1	4	高	木	3	0	1	0	0	0	1	2	0
9	堤	5	0	0	0	0	0	1	1	0	0	9	西	村	2	1	2	0	0	2	2	1	0
5	原	2	1	0	0	0	0	1	1	3	1	2											
	計	33	6	1	2	1	3	12	6	13	2												

全國中等學校野球大會 京津大會第一次豫戰 滋賀縣大會出記

嗚呼、待ちに待った戦の日は来た。
戦はんかな時機到る、吾等は雪解け初め、霞たなびく陽春の初より春草萌ゆる金籠城下にて練習を重ね、炎熱萬物を焼きつくす七月その炎天下にもとせず慶應前選手川瀬氏を聘し汗さほこりにまみれ猛練習に々々を積み七月十一日試験直下より松盛館に合宿す。遂に七月廿五日大津尾花川原頭に於て第一回戦水口中學と戦ふのである。
吾等は鎌えに／＼し腕をもつて我が彦中の名譽の爲、光輝あり、歴史ある吾が野球部の爲に向ふ所敵なしの勢を持ち、意氣揚々と出場したのです。左にその吾等のベストを盡せし戦跡を記す。
七月二十五日午前九時廿分より大會旗纏る尾花川球場に於て、球審深海、壘審曾川、紺屋關三氏のもさに彦中先攻にて試合開始。

第一回戦(本校)近藤四球に出で木下投筒松居中前安打に三進し上池左飛松居盜壘を企て成功し走者二三壘に置きへキ頭チャンに到る續く布施の二壘一失に近藤生還林四球に出で二死満塁なりしも西川の投筒にやむ然し乍ら最初の一點を擧ぐ。

(水中) 山本遊筒奥四球に出で吉田三振奥二壘にて刺殺さる(本校一、水中〇)

第二回(本校)高橋四球に出で原の投筒に二進せしも近藤中飛木下二壘(水中)西田三振の後五番打者福永左中間に三壘打を放ち廣岡四球に出で二進し走者二三壘なる井村を三振に打ち取りしも、八番打者芦田左翼越二壘打に福永、廣岡相共に生還し二點を擧ぐ續く奥野三振(本校〇、水中二)

第三回(本校)松居投筒上池四球に出で布施の三壘二失に二進林左中間に二壘打を放ち上池勇躍生還西川四球に出でしも高橋原共に三振。

(水中) 山本二遊筒安打に出で奥四球吉田右

封殺さる山本投筒に二死後奥四球に出でしも奥野奮然三壘盜壘を計り刺さる途に水中の追撃も及ばず廿一對七の七回コールドゲームを以て本校まづ大勝す。

(本校) 藤下居池施林西川高橋
近木松上布林西高橋

1(3) 8 6 2 3(1) 4 7 9 5
14 21 8 11 4 10 0 2 1
40 打安得點盜壘三振球策打打
26 4 7 5 9 9 11 5 2 2 3 1

(水中) 本奥吉西福廣井村芦田奥野
山奥吉西福廣井村芦田奥野
7 6 2 8 1 3 5 4 9
1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
回數 I II III IV V VI VII 計 21 9

二壘打 林、木下(本校) 吉田芦田(水中)
三壘打 松居(本校) 福永

第二回戦 本校對滋賀師範
廿六日舉行の管雨天の爲廿七日に延期すこの日絶好の野球日和なり尾花川原頭涼風そよぐこと頗り午後滋賀師範の先攻球審多卷、壘審雨森、村松三氏のもとに試合開始。

翼二壘打に山本奥生還し西田投筒一失に生き福永廣岡二者四球にて吉田生還せしも井村三振芦田遊筒奥野三振(本校〇、水中三)

第四回(本校)この回本校は一番打者近藤よりにて四球出でし後木下遊筒松井四球に出で近藤三進し上池の中前安打に近藤生還布施四球林右失に生き松居生還西川遊失に遂に内野安打となり上池生還高橋の遊失に布施原林二者相續いて生還原の右前安打に又も西川高橋生還打者一順して近藤中前安打を放ち原生還し續く木下右翼越二壘打に近藤生還松居遊失に内野安打となり上池の中前安打に木下生還布施二壘に殺されしも林三失に生き松居生還西川の遊飛にやむこの間打者略二順し一本の二壘打と六本の安打とによつて堂々一舉計十一點を擧げ意氣天に沖す。

(水中) 山本二壘奥四球に出でしも續く吉田投筒西田遊筒福永の三壘に凡退す(本校十一水中〇)

第五回(本校)高橋二失に生き原中前安打近藤第一回(滋師)井川まづ右前安打に出で東郷の三壘に二進馬杉遊飛續く四番打者中野左翼越大本壘打を放ち井上と相共に生還す田中四球に出でしも里井三振に終る先づ二點を先取す。

(本校) 近藤三振木下三壘松居上池共に四球に出でしも布施の二壘に凡退す(滋師二、本校〇)

第二回(滋師)中川四球に出で捕手惡投に二進後澤投筒下四球に出で二盜を企て刺さる井上右前に安打を放ち中川を生還せしむ東郷三壘(本校)林四球に出で續く西川投筒高橋二壘に燈れ原四球に出で林生還近藤右前安打に原も生還す木下二壘(滋師一、本校二)

第三回(滋師)馬杉四球中野遊失を利用して一撃に二進し田中の三壘に馬杉生還せしも續く里井三振中川四球澤投筒

(本校) 松居四球に出で上池投筒布施四球に出で二盜す林三壘に松居生還西川四球に出でしも布施本壘寸前に惜しくも刺さる(兩軍一)

藤四球木下中飛に燈れしも又も無死満塁の好機到る松居の中前安打に高橋原續いて生還上池四球布施投筒林の遊擊惡投に近藤松居生還し西川再び投筒一失に生き松居上池生還高橋の遊筒にやむ又も六點を加へ計十九なる。

(水中) 廣岡三振井村投筒芦田四球奥野デットボールに生きしも山本の三振に空し(本校六、水中〇)

第六回(本校)原三遊筒安打に出で近藤三振木下の遊筒に原二壘に封殺さる續く三番打者松居中堅越大三壘打に木下生還上池の右前安打に松居生還又も二點を擧げしも布施投筒(水中)奥四球出でしも吉田の遊筒に封殺さる西田遊失に生き福永の遊筒に封殺されその間吉田生還す福永二度盜壘を企て三進し廣岡四球福永猛然本盜を企て効を奏す井村三振に空し(兩軍二)

第七回(本校)林遊筒西川遊飛高橋三振に凡退(水中)芦田四球に出で奥野の遊筒に二壘に

第四回(滋師)蔽下投筒井上三壘東郷左前に安打を放ちしも二盜ならず刺死す(本校)高橋原共に四球に出で一壘打者近藤三壘二失に生き木下投筒松居一壘上池の遊筒に空し(兩軍〇)

第五回(滋師)馬杉四球中野の三壘に二壘に封殺され田中四球に出でしも里井の遊筒又もや封殺さる中川二壘

(本校) 布施三振林西川共に四球に出でしも續く高橋一壘原二壘に凡退す(兩軍〇)
第六回(滋師)澤四球蔽下遊失に生きて二進し走者二三壘となる井上二壘東郷三失に澤生還馬杉二飛中野田中二者四球に蔽下生還せしも里井投筒にやむ(本校)近藤四球木下松居共に投筒に近藤三進し上池四球に出で布施の中前安打に近藤生還せしも上池本壘にて憤死す(滋師二、本校一)
第七回(滋師)中川三振澤一壘續く蔽下左前安打に出で、二進し井上の右前安打に生還し井上二盜を企て功を奏さず二壘に刺さる。

(本校) 林西川共に四球に出で高橋投術に林刺さる原の遊術に西川生還せしも原の遊術に封殺近藤二飛に空し(兩軍一)

第八回(滋師) 東郷遊失に出で馬杉中飛中野の三術に東郷ダブルプレイにて三者凡退す

(本校) 木下四球松居遊術に木下封殺さる上池三振の後布施右前に安打を放ちしも林三振

(兩軍〇)

第九回(滋師) 田中四球に出で里井の三遊間安打に二遊中川二術澤右翼手の失策に二壘打となり田中里井二者生還せしも續く蔽下井上共に三術にやむ(本校) 西川四球に出で高橋三振原四球に出でしも近藤の遊術に封殺さる木下松居上池三者四球に出で西川近藤勇躍生還せしも布施の三振に終る(兩軍二)

遂に我が軍追撃又追撃よく戦ひしも余りに失策多く敵の好打に破れ九對七を以て惜敗せり本年こそ滋賀縣大會に優勝を期し出陣せしも天我に好機をあたへず本年の京津大會に於ても前年同様二回戦を以て惜敗し涙をおさへて

尾花川原頭を去る。

(本校)		(滋師)		本		回		滋		師	
近藤	1	井上	2	滋師	2	本	2	回	2	滋	2
木下	8	東郷	6	師	1	本	1	回	1	滋	1
松居	6	馬杉	5	師	2	本	2	回	2	滋	2
上池	2	中野	3	師	1	本	1	回	1	滋	1
布施	6	田中	1	師	1	本	1	回	1	滋	1
林	4	里井	9	師	0	本	0	回	0	滋	0
西川	7	中川	7	師	2	本	2	回	2	滋	2
高橋	9	澤	4	師	1	本	1	回	1	滋	1
原	5	蔽下	8	師	0	本	0	回	0	滋	0
		本壘打	1	師	2	本	2	回	2	滋	2
			0	師	9	本	9	回	9	滋	9
				師	7	本	7	回	7	滋	7

京津大會後新チーム編成をなし九月五日午後二時より彦根商業と練習試合を行ふ球審吉見豊西村彦商先攻

(彦中)		(彦商)		三打		二打		一打		計	
西川	4	前川	5	三打	5	二打	5	一打	5	計	15
原	4	近藤	5	三打	5	二打	5	一打	5	計	15
松居	3	日比	4	三打	4	二打	4	一打	4	計	12
布施	6	堀	4	三打	4	二打	4	一打	4	計	12
中川	5	中川	4	三打	4	二打	4	一打	4	計	12
堤	6	藤本	4	三打	4	二打	4	一打	4	計	12
近小	4	吉田	2	三打	2	二打	2	一打	2	計	6
上池	4	高木	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
木野	4	本川	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
高橋	4			三打		二打		一打		計	
計	44			三打	34	二打	8	一打	5	計	47

岐滋中等學校野球大會出場記

彦根体育俱樂部主催岐滋二縣中等學校野球大會は九月廿日より開かる廿日午前九時四十分より初秋の本校々庭に於て大津商業對本校であり大商先攻大阪工大選手三氏のもとに試合開始開戦前の入場式より早や一般觀覽席來賓席は人の山を築く

第一回(大商) 大塚遊術澤田デットボール三番打者森島右中間に中壘打を放ち澤田生還せしも藤田二術瀧川投術にやむ

(本校) 近藤遊飛原二術松居投術に三者凡退す(大商一、本校〇)

第二回(大商) 谷口右翼越二壘打に出で、三進せしも續く鹿野勝見共に三振松居投術に谷口三壘に殘壘す。

(本校) 布施投術上池四球に出でしも中川の遊術にダブルプレイとなる(兩軍〇)

第三回(大商) 大塚三遊間安打に出で澤田森島共に四球に無死滿壘の好機となりしも藤田

(彦中)		(彦商)		三打		二打		一打		計	
西川	5	今村	2	三打	2	二打	2	一打	2	計	6
原	1	馬場	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
松居	1	桂田	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
布施	3	北村	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
堤	4	上田	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
中川	4	木村	1	三打	1	二打	1	一打	1	計	3
小川	4	瀨川	1	三打	1	二打	1	一打	1	計	3
野野	2	北川	2	三打	2	二打	2	一打	2	計	6
高橋	2	小菅	2	三打	2	二打	2	一打	2	計	6
計	26			三打	20	二打	3	一打	2	計	25

九月十二日本校校庭に於て彦根工業と練習試合を行ふ開戦二時三十分、球審近藤遊飛上池本校先攻

(彦中)		(彦商)		三打		二打		一打		計	
西川	5	藤井	5	三打	5	二打	5	一打	5	計	15
原	3	太田	5	三打	5	二打	5	一打	5	計	15
松居	2	三輪	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
布施	4	川村	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
中川	3	白木	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
上池	3	安村	1	三打	1	二打	1	一打	1	計	3
近藤	4	佐藤	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
小川	3	福原	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
堤	3	辰巳	3	三打	3	二打	3	一打	3	計	9
高橋	3			三打	3	二打	3	一打	3	計	9
計	30			三打	29	二打	8	一打	5	計	42

九月十三日本校々庭に於て八日市中學と練習試合を行ふ八日市中學先攻球審吉見開戦十時四十分

瀧川二者三振に大塚遂にホームスチールを企て本塁寸前に惜しくも刺さる。

(本校) 西川投側堤二匍高橋遊匍に三者凡退す(兩軍〇)

第四回(大商) 谷口二失に生き二壘手懸投に二進せしも井上投側勝見三匍松井二飛に空し

(本校) 近藤中飛原二匍松居二遊間安打に出でしも布施二匍(兩軍〇)

第五回(大商) 大塚左翼に二壘打を放ち澤田投側三進す森島遊失に出でしも大塚再び本塁盗壘を企て憤死す藤田投匍にやむ。

(本校) 上池遊匍中川一、二壘間安打續く西川左中間安打に中川三進堤遊匍高橋の遊匍三失に中川西川二者勇躍生還せしも近藤の遊飛にやむ最初の二点を擧ぐ(大商〇、本校二)

第六回(大商) 瀧川右中間安打續く谷口二失に二壘打となり井上左前安打を放ち瀧川生還勝見投匍に谷日本壘に憤殺さる松井左翼越三壘打に井上生還大塚右中間安打に松井生還し澤田四球森島三失に生き大塚生還せしも藤田

遊飛にやむ。

(本校) 原松居共に投匍布施遊飛に凡退(大商四、本校〇)

第七回(大商) 瀧川中堅強襲安打に出で谷口四球井上中飛勝見の遊匍に瀧川三壘に刺さる松居遊匍、

(本校) 上池三失に生き中川の遊匍にダブルプレーとなり續く西川四球に出で二進せしも堤遊匍に空し(兩軍〇)

第八回(大商) 大塚三振澤田四球に出でて二進し森島三振藤田四球に出でしも瀧川捕匍に空し。

(本校) 高橋投飛近藤二匍一失に生き原四球に出でしも松居の三匍に二壘に刺さる布施一

二壘間に安打し近藤生還し上池の三失に松居生還中川の投匍にやむ(大商〇、本校二)

第九回(大商) 谷口三振井上左翼越二壘打を放ちしも勝見遊匍松居右飛。

(本校) 西川遊匍堤四球に出で二壘に刺され木野戸三振遂に五對四を以て本校惜敗す。

り方を教へる。

「後へ引いて前へ出すだけで良いよ。」

ロングを打つのは徳利、おけ、七杯、近專位なもの

後によく似たもの「シツカリ打て」「元氣出せ」「聲出せ」

「よし」「バッターシツカリ」バツテング終るさ皆、水だ〜と寄つて来る。「おい七杯今八杯目ぢやないかい」「今七杯目やぞ」

「さあノックやらう」

「皆暑いからしつかりやれ」皆元氣でやる一人七十から百位ノックされる皆へたばつた捕手徳利君自分は疲れてゐないから「まだまだ頑張る〜」

「セコンドベースマン」なか〜實際は弱らない心臓が強いから、大分日は西に傾いた

「さあバツクホーム」外野ボヂションついで「川瀬氏一番新米の嚴三をノックするに」なか〜嚴三はうまくなつたぞ」なんてなかなかうまくしほる。

遊飛にやむ。

(本校) 原松居共に投匍布施遊飛に凡退(大商四、本校〇)

第七回(大商) 瀧川中堅強襲安打に出で谷口四球井上中飛勝見の遊匍に瀧川三壘に刺さる松居遊匍、

(本校) 上池三失に生き中川の遊匍にダブルプレーとなり續く西川四球に出で二進せしも堤遊匍に空し(兩軍〇)

第八回(大商) 大塚三振澤田四球に出でて二進し森島三振藤田四球に出でしも瀧川捕匍に空し。

(本校) 高橋投飛近藤二匍一失に生き原四球に出でしも松居の三匍に二壘に刺さる布施一

二壘間に安打し近藤生還し上池の三失に松居生還中川の投匍にやむ(大商〇、本校二)

第九回(大商) 谷口三振井上左翼越二壘打を放ちしも勝見遊匍松居右飛。

(本校) 西川遊匍堤四球に出で二壘に刺され木野戸三振遂に五對四を以て本校惜敗す。

七時頃終つて合宿へ歸る。歸る時になるさ又元氣が出る。

應援歌を歌ひながら、歸れば「おい洗濯しようか」皆汗びしよりのユニホームを洗濯する、そしてお風呂へ行く。

歸つて御飯を終ませて、ピンポン、野球盤カロム、圍碁が始まる。九時からルール六壘の部屋へ皆集る。それが終ると外でスキングル」五十本づゝ毎晩だ。

「そら十時皆寝よ」床を引いてそれ〜寝かける、けれど實際は皆寝ない。おい、實際今夜も怪談を言つてくれ。

キャップテン近專も来る。徳、寛ちん、七杯等来る面白い、否恐ろしい話をしてくれる墓場の話から首つりの話まで。

皆よう寝ない。自分寝ずして「コラ緩慢早う寝よ」

嚴三が一番早く寝る。「あれ雀が居らん、屁もならん」

「又水食べに行つたな」「馬鹿な奴ぢや」

合宿所松盛館を出て堀端づたひに彦中グラウンドへ。

「おいも、行くぞ」「皆バット一本づつ持つて行けよ」

「今日も暑いなあ」「おい今日も水二、三貫目いるぜ」

グラウンドへ着いて準備運動やつてゐると川瀬氏が来る。

「今日は皆禮する」「今日も暑いネ」「へー」

「どうかしぼらんやうに」こそ〜と七杯とおけが話しとる。

「さあ走れ」近專、徳利、屁、七杯、おけ實際、雀、寛ちん、嚴三、緩慢の順に走るキャップボール、トスパツテング、バツテングの順にやる。コーチャー川瀬氏バットの振

本校	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
大商	回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
本校	打数	12	5	7	6	5	12	6	1	2	38
大商	打数	5	8	5	3	7	9	2	(2)	4	38
本校	得点	4	2	6	3	7	9	1	5	8	42
大商	得点	2	4	4	4	5	0	0	2	2	26
本校	振三球	4	4	4	4	5	0	1	0	0	26
大商	振三球	4	4	4	4	5	0	1	0	0	26
本校	盗壘	4	4	4	4	5	0	1	0	0	26
大商	盗壘	4	4	4	4	5	0	1	0	0	26
本校	二打	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
大商	二打	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
本校	三打	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大商	三打	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本校	失策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大商	失策	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

合宿の思出

上池賢次郎

「おいもう一時半だぞ」「何や早いから」

「一寸待つてくれ傾所へ行くで」屁又行くのかい今朝から三度目ぢやないかい「おい屁やん下痢やろ」「昨夜氷食べよつたぞ」「コラ七杯まだぐづ〜やつとる。雀も早うやらんかい」

「コラホームランやのにあうさかい」「攝生

スタイルせいよ」

「一寸待つてくれ傾所へ行くで」屁又行くのかい今朝から三度目ぢやないかい「おい屁やん下痢やろ」「昨夜氷食べよつたぞ」「コラ七杯まだぐづ〜やつとる。雀も早うやらんかい」

「コラホームランやのにあうさかい」「攝生

スタイルせいよ」

「一寸待つてくれ傾所へ行くで」屁又行くのかい今朝から三度目ぢやないかい「おい屁やん下痢やろ」「昨夜氷食べよつたぞ」「コラ七杯まだぐづ〜やつとる。雀も早うやらんかい」

「コラホームランやのにあうさかい」「攝生

スタイルせいよ」

「一寸待つてくれ傾所へ行くで」屁又行くのかい今朝から三度目ぢやないかい「おい屁やん下痢やろ」「昨夜氷食べよつたぞ」「コラ七杯まだぐづ〜やつとる。雀も早うやらんかい」

「コラホームランやのにあうさかい」「攝生

スタイルせいよ」

「一寸待つてくれ傾所へ行くで」屁又行くのかい今朝から三度目ぢやないかい「おい屁やん下痢やろ」「昨夜氷食べよつたぞ」「コラ七杯まだぐづ〜やつとる。雀も早うやらんかい」

「コラホームランやのにあうさかい」「攝生

スタイルせいよ」

「一寸待つてくれ傾所へ行くで」屁又行くのかい今朝から三度目ぢやないかい「おい屁やん下痢やろ」「昨夜氷食べよつたぞ」「コラ七杯まだぐづ〜やつとる。雀も早うやらんかい」

「コラホームランやのにあうさかい」「攝生

「おい、俺これから菓子買ひに行つて来るぞ」と窓からとび出る。

「おい金出せ」「ないない」「あゝ寛ちんが持つとるぞ」

「あほ言へ」すると一寸づゝ出して参拾錢たまる「よし」「そら歸つた」と言へば喜んで食べる、おい、もう十一時やぞ。

「寝よう」「十一時半だぞ」(朝は八時半に目を覚ます。

「おい八時や、起きよ」やはり殿三が一番早い。

飯食べて出るぞ八時廿分「おい遅れるぞ」

走れ………

學校では眠くつて仕方がない。大抵の時間は寝る。

「おい近専オムタイネ」「私今の時間一時間中寝てた」

「私もよ」屁もれむたさうに」

學校終るま合宿へ歸つて御飯だ。

「今日は雨が降りさうだぜ」「どうか降るや

それこそ彦中の意気のない事を表すものでせう。

先輩を御覽下さい。皆相當の地位に立つて居られるのです。

野球部に入つて或時はつらい事もありませう。又或時は勉強の出来ぬ事もありませう。併しそこは學校を代表してゐるだけ義務があり又犠牲があります。

何等運動部にも入らずに學校終るやすぐ家に歸つて又勉強せられる方が多い様ですが、人間は先づ健康です。

例へその方が希望の上級學校に入學出來たとしても健康上の爲に休學までしなければならぬ人が全國でも相當多い様です。それならば大いに運動をやり立派な体格で例へ一年や二年後れても堂々と先んじる事が出来るぢやありませんか。

野球はほんたうに男性的なスポーツです。全國に一番人氣のあるスポーツといへばやはり野球です。

「降りない様に」これはキャップテンの言うに

合宿へコーチャーが来てくれる「今日は出来るだらう」

グラウンドへ行つて練習してゐるさ雨が降る。

「おいもう京津大會まで五日だぞ」「頑張れ」

先輩はなか／＼熱心だ否五年になると皆一生懸命だ。

雨降りには控所でキャッチボールやトスバツテングをする。

近専と徳利は外でビツチングをやつてゐる

又夜になると、川瀬氏のお話や、怪談まで面白い中には勉強してゐる者もある。

廿五日は最後の合宿を終へた。

嗚呼愉快な合宿もとう／＼終つてしまつた

僕は彦中野球部を去り行く者です。併し野球やつた事に大へん感謝してゐるのです。今後の上級學校入學に於ても就職に於ても野球をやつた者等は大いに利便があります。

又野球部は學生々活を最も愉快に暮す事が出來ます。

合宿等は野球部のみに於て味はれる愉快なものでせう。夏季練習等は最も愉快です。晝はあの炎天下で血のにじむ様な猛練習をやり夕方は汗に濡れた体で合宿に歸るその途中、夜は皆揃つて、ルール或はスウキングル等やり其後は面白い話をし又はビンボン、カロム、圍碁等やつて遊ぶ。その愉快さは筆に書き口に話す事は出來ません。又コーチャ等のお話もある。又一方野球は精神的からも大いに修養されるものです。

例へ野球試合に敗れたとは言へ、スポーツマンの集りだ、悲しい事は水に流し未來の勝負にさ進むのです。

併しこの敗れた原因は大きいものです。そ

野球部報後記

上 池 記

野球部の不振!! 何がこの原因を作つたのでせうか?

彦中生諸君よ!! 考へて下さい。あまりにも運動といふ事に對して理解のない方が多いと思ひます。又滋賀縣下一般に運動に對して理解がないと思はれます。故に皆がも少し運動熱を上げようぢやありませんか。

彦中生諸君野球部は最も學校を代表するものです。然も彦中野球部の古い事は全國でも各中等學校に於ては二、三番なのです。この古い歴史を有しながらも不振さは何と情ない事だせう。野球部は勉強が出來ない。或は健康を害する等と思つて居られる方が今日の彦中には非常に多い事を残念に思ふのです。例へば一度入部した者が又退部するといふのは皆強が出來ない健康を害するからと言ふのです。

の敗れた時の悲し涙をいつもの練習に心掛けて置くのです。そして眞面目に練習すれば強くなる事は確實です。

彦中生諸君よ、今年は實に恥かしい戦跡を残したのです。

これこそ諸君にお詫びせねばなりません。併し選手不足が大なる原因なのです。

諸君何も遠慮する必要はありません。どしどし入部して下さい。

強くなれば學校の評判はよくなり又小學校からの入學者も多くなるでせう。

最後に諸君!! 赤鬼魂を振り起して下さい。今は眠れる野球部なのです。決して永遠に眠れる野球部ではありません、この眠れる野球部を覺ますものは彦中生諸君です。否眠れる赤鬼魂を目覺すのか!!

赤鬼健兒よ先づ校友會各部を救へ!!

「さらば赤鬼魂は復活せん」諸君彦中野球部を涙と熱とを以て復活させ名を甲子園原頭

に!! 全國に擧げて下さい。

之が去り行く僕として切に望むものであります。(終り)

庭球部々報

太陽も早く眼を覺し軒の蜂窠にブラ下つた蜂がモザ／＼動き出し羽音を立て、飛ぶ頃から我部選手は覇権を目指して体の續く限り練習を勵んだ。春淺く寒風に腕の凍る日霖雨の絶え間雨上りの土に照りつけるまぶしい夏の太陽濼々立ちこめる水蒸氣と草の香に咽びながら合宿しては晝は東京文理大の絹卷氏のコーチに鍛へられ夜は蚊帳の破れから攻め来る蚊軍と闘ひ幾多の試練を経て濱寺の檜舞臺に登場した。泉尾工業富山中學を倒して第四回戦に臨んだ、シングルスは神三中の邪法に恨を残した、ダブルスでは京二商を全然寄せ付けず敵を數里の彼方に抑へつけて遂にダングを喰はしたが第三回戦優勝候補京師と相見は敵を始終壓迫したが逃げ込まれて遂に後塵

を拜し遙かに見ゆる優勝旗を睨み付つけて涙を呑んだ。

主なる戦跡

四月十八日(晴)

對彦根商業練習試合 彦商コート

彦根商業

彦根中學

No2 北原村 6—3 (奥北澤村)

No1 草川 6—5 (堤田村)

No2 原 6—2 田村

No1 草川 2—6 堤

六月十四日(晴)

對八幡商業練習試合

八幡商業

No1 佐浦 3—6 (堤田村)

No2 佐田 6—2 田村

No1 松浦 6—5 堤

六月二十八日(時雨)

名古屋高商主催全國中等

學校庭球大會(準硬球)

シングルス第一回戦

京一商 廣部 6—2 彦根中 堤

七月二十四日(炎天)

大毎主催全國中等學校

庭球大會(準硬球・於濱寺コート)

シングルス第二回戦 センターコート

彦根中 堤 6—5 大阪泉尾工業

七月二十五日(炎天)

ダブルス第二回戦 第五コート

彦根中 (堤) 村 6—0 京二商

シングルス第三回戦 第五コート

彦根中 堤 6—4 富山中

シングルス第四回戦 第三コート

神三中 6—4 彦根中 堤

七月二十六日(炎天)

ダブルス第三回戦 第三コート

京都師範 6—1 彦根中 (堤) 村

八月六日(晴)

四高主催全國中等學校

庭球大會(準硬球)

第一回戦

小松中 彦根中

ダブルス 6—3 (堤) 田村

シングルス 6—1 田村

シングルス 4—6 堤

十月二十五日(曇)

彦根高商主催近府縣中等

學校庭球大會(準硬球)

第一次戦

彦根中 (保) 坂 6—3 北野中

第二次戦

關西甲種商 6—0 彦根中

十一月一日(晴)

三高主催近府縣中等

學校庭球大會(硬球)

第一次戦

彦根中 (保) 坂 6—5 伏見桃山中

扇町商 6—1 彦根中 (北) 田村

第二次戦

高津中 6—3 彦根中 (保) 坂

競技部々報

昭和六年度陸上競技部々報(古川傳三郎記)

部長 寺本 先生

理事 小野 先生

主將 澤田平三郎

選手 (五年) 澤田平三郎 中村 一郎

古川傳三郎 平塚 孝城

然も此の時に當り古川が部を退くのやむなきに到り我が部は一層苦心に苦心を重ね陣營組立に努力した。

因に新春の陣營は

トラツク

(四年) 三橋 文男 室谷 隆一

竹内 禮真 北川宗四郎

柴田 禮二 田中宗勇紀

(三年) 那須原邦男 藤本 富雄

種村 敏雄 大橋 義造

(二年) 北川 恒雄 中溝孝太郎

石田 秀宏 上池 芳三

(一年) 岡島 正延

昭和六年四月新春我が部は先に萬能選手南城六郎氏を送りしに奮然として先の名譽を墜さじとグラウンドに立つた。三月に短距離界の雄桂、宮内の両氏、跳躍界の雄近野氏萬能選手馬場氏長距離界の壯者柴田氏を失ひ爲に大打撃を被りたる吾等は今年度の陣營組立に心中大いに憂慮に耐へられないものがあつた。

百米	三橋 文男	那須原邦男
二百米	北川宗四郎	那須原邦男
四百米	柴田 禮二	竹内 禪真
八百米	澤田平三郎	中村 一郎
千五百米	澤田平三郎	中村 一郎
一萬米	澤田平三郎	中村 一郎
二百米ハードル	三橋文男	室谷 隆一
八百米リレー	那須原 竹内	北川 室谷

三段跳 種村 敏雄 澤田平三郎
 槍 投 藤本 富雄
 圓盤投 種村 敏雄
 砲丸投 藤本 富雄 平塚 幸城
 棒高跳 澤田平三郎 藤本 富雄
 今年こそ競技界の覇者たらん必死の練習を開始した。

校内陸上競技大會の記

第二段	北川
第三着	藤 實
第四着	平 塚
第一着	柴田禮 記録一分五秒八
第二段	北川
第三着	藤 實
第四着	平 塚
第一着	那須原記録十二秒八
第二段	北川
第三着	藤 實
第四着	平 塚
第一着	那須原記録十二秒八

砲丸投	一等 八、三八米	平塚
	二等 八、〇〇米	清水光
	三等 七、八五米	安田
	四等 七、六七米	川口
走高跳	一等 一、三〇米	北川恒
	二等 一、一五米	小林龍

高商對三校聯盟軍對抗 試合の記

四月二十九日高商グラウンドに於て彦根高商に對して彦中、彦商、彦工の聯盟軍が戦ふこととなつた。我々はベストを盡して之に當つた。
 當日の記録及び本校のメンバー左の如し
 トラック
 百米 十二、四秒 神戸(高商)
 那須原邦男得意のストライドで斷然トップかと思ひしが惜しくも三着となる(高商五點 聯合軍一點)

四百米 五八、二秒 神戸(高商)
 柴田禮二奮闘の功なく四着にて敗れる、我が軍得點なし。
 千五百米 四分五二秒 桑原(高商)
 澤田平三郎有望なりと思しが惜しくも四着となる(高商四點、我軍二點)
 一萬米 四分三三、二秒 正田(商業)
 中村一郎最後迄奮闘して三着となる(高商二點、我軍四點)
 八百米リレー 一分四六、四秒 高商
 聯合軍奮闘せしが差八米にて敗れる(高商三點、我軍〇點)
 フィールド
 走高跳 五米七八 金谷(高商)(高商五點、我軍一點)
 走高跳 一、六〇米A 立田(高商)
 種村敏雄得意のジャンプ力を以てしても敗れたり(一、五〇米)(高商五點、我軍一點)
 三段跳 一二米六五 栗田(高商)
 種村善く奮闘し、有望だつたが敗れた(一

湖東聯盟陸上競技大會 出場之記

快晴！然れども
 北風強し！五月二十四日！時は来た。待ちに待つた時だ、此の腕を以て此の意氣を以て湖東に覇者たらん元氣百倍我等は、長濱商業グラウンドに開催せられた湖東陸上競技大會に出場した。

我等は當日小野先生引率の許に聲高らかに
あゝ英傑を歌ひつ長商グラウンドに到着した
午前八時半より入場式あり、参加校六校何
れも湖東の覇たらんとする、意氣を示してゐ
る、式後直に競技開始。
掃き清められたグラウンド。真白いコース
其處には君が代の餘韻が残つてゐた。當日の
我軍の決戦記を左に示す。

トラク
百 米 那須原邦男 三橋 文男
我等の新進那須原、三橋大なる期待を満身
にあびつゝスタートにつく、然れども天の戯
か兩名は如何にせしか、兩者共少差にて三着
豫選に落つあゝ天なる哉命なるかな。
二百米 室谷 隆一 那須原邦男
三橋 文男

那須原、三橋は此の機には！と臨みしが落
選す、室谷兩名の敗れたるを悲しみ我こそは
ミスタートに着く。ピストルの音！。彼のピ
ツナ物すごく意氣日頃に倍す、二等にて入選

せり
四百米 竹内 禪眞 柴田 禮二
室谷 隆一
本校の四百知らざるものなし、此の三名安
々々入選す。

八百米 澤田平三郎 柴田 禮二
我が團將澤田の意氣よく赤鬼魂を發揮して
兩名ともに入選す。

千五百米 決勝 澤田平三郎 得點五點
澤田走る走る得意のストライド、見る者を
して驚嘆せしむ、安々と優勝かと思へば之れ
又如何に長商の宮本彼の後に接して離れず。
澤田はちよつと驚きし様子なりしが得意の微
笑をもらし、ピツナを上げた、ラスト百米宮
本は猛然と澤田を襲ふ。澤田力つき果て惜し
くも二着にて敗れた、澤田は恨涙盡きず次の
八百決勝に優勝せんと希望を持った、澤田の
レコード五分一三、五秒
一萬米決勝、中村一郎、得點四點
中村得意の耐久力を以てしても及ばず三着

となる。然れども彼よく戦ひ赤鬼健兒獨特の
意氣を示した。レコード四十五分二一秒。

四百米決勝 得點 八點
竹内善く奮闘し、優勝するかと思ひしがラ
ストが續かず惜しくも二等となる。柴田善く
竹内に續きしがラストで五等となる。室谷努
力せしが六等で終る。

八百米決勝 得點 七點
澤田、千五百で敗れたる恨涙を晴さんもの
と彼獨特の負じ魂を以て戦ふ、彼平素の努力
は此處に酬いられた、二等をはるか後方にか
すめ、微笑満面に浮べてテープを切つた、レ
コード二分三八秒四、柴田善く戦ひしが六等
にて終る。
千六百米リレー決勝 得點 二點
我が軍よく戦ひしが五着にて終る。
二百米決勝 得點 一點
室谷善く戦ひしが、疲勞恢復せず六着で終る
八百米リレー決勝 得點 二點
我軍選手皆疲勞して惜しくも五着で終る。

フイルド

走高跳決勝 古川傳三郎
古川此の大會直前に復部したれども練習不
足の爲敗れた。

走巾跳決勝 古川傳三郎 藤本 富雄
兩名奮闘の効なく敗れた。
三段跳決勝 種村 敏雄 得點二點
種村善く奮闘し五等となる。
圓盤投決勝 古川傳三郎
練習不足の爲惜しくもわづかの差で七位と
なる。

槍投決勝 堤 登良雄 得點二點
第一投にて腕の關節をいため後ば棄権五位
となる。
棒高跳決勝 澤田平三郎 藤本 富雄
兩名ともよく戦ひしが及ばず落選す。
砲丸投決勝 藤本 富雄
年少者藤本ベストを盡して六位となる。
湖東の榮冠は八商の手中に歸した。嗚呼我
等は此所に三十六點と云ふ得點と、澤田の優

勝を諸君の前に呈し、我等が敗戦の許を乞ふ
午後四時三十分大會は終了した、北風強し！

彦根商業對彦中競技大會記

六月二十日！本校校庭に於て新設グラウンド
開場祝に彦商軍を招待して對抗試合を開催し
た。記録左の如し。

百 米 一一、九秒 那須原(彦中)
第二位 北川(彦中)
第三位 三橋(彦中)
二百米 二五、五秒 那須原(彦中)
第二位 夏川(商)
第三位 三橋(彦中)
四百米 一分一四秒 竹内(彦中)
第二位 室谷(彦中)
第三位 阿知波(商)
八百米 二分二八秒六 澤田(彦中)
第二位 中村(彦中)
第三位 阿知波(商)
千五百米 五分二秒四 澤田(彦中)

第二位 中村(彦中)
第三位 大橋(彦中)

八百米リレー 一分四六秒 本校チーム
メンバー 三橋 室谷 竹内 那須原
走巾跳 第一位 近藤(商) 五米四四
第二位 古川(彦中) 五米二七
第三位 藤本(彦中) 五米一〇
走高跳 第一位 種村(彦中) 一米五五A
第二位 外村(商) 一米五〇
第三位 大橋(商) 一米四五
三段跳 第一位 澤田(彦中) 一一米一三
近藤(商) 一一米一三
圓盤投 第一位 種村(彦中) 一一米〇八
第二位 小財(商) 二八米五五
第三位 種村(彦中) 二三米四七
槍投 第一位 古川(彦中) 二三米〇九
第二位 古川(彦中) 三七米五七
第三位 小財(商) 三五米七〇
砲丸投 第一位 小財(商) 一三米二九
第二位 大橋(商) 一三米七四
第三位 小財(商) 一一米二九

第二位 福原(商) 九米四一
第三位 藤本(彦中) 九米一〇

此の日快晴東南微風ありコンデイション頗るよく豫想外の記録を出した。四十五點五分對二十三、五點で大勝し大いに彼を壓した。

因に部の開設以來沈滞して振はざりし我が競技部はグラウンド改新の芽出度き門出に於て彦商軍を迎へ二倍の大差を以つて快勝せり。これ伸び行く我が一中競技部の前途を祝する合奏曲にあらずして何ぞ!! 幸あれ! 一中競技部!!

而して此の戦以來日夜猛練習を續け來し若人の意氣は上り勇氣は百倍していよゝ純白のユニホームを汗に浸した。かくて若き闘士は大いに氣を強うし今後の練習に一段と對時代の壯觀を呈した。

嗚呼!! 天よ! 喜め!! すぐく、さ育ち行く我が一中競技部の頭上に!!

虎中運動會リレー遠征記

て落つ
二百米 那須原、豫選三等で落選
竹内足工合悪し、落選
四百米 室谷調子善く一着にて豫選パス
竹内足工合悪く落選す。
八百米 柴田禮、最後迄頑張り豫選パス
柴田正借しくも三等で落選
千五百米 中村素足で頑張り豫選パス。泥土恰も壁土をこれるやうな中を素足で最後までごぼした此處にも赤鬼の意氣は赤裸々に發揮され觀衆をして啞然たらしめた。
八百米リレー豫選
第一着 (膳中)
第二着 (本校)
第三着 (水中)
二百米ハードル
室谷頑張り二等で入選
三橋頑張りしも及ばず落選す
(二部) 豫選

十月三日 土曜日! 寺本先生引率の下に我がリレーチームは虎中運動會に参加せんとし同校庭に到着した。

黒雲天に重疊して北風強し! 参加校は滋師、本校、長商、八商の四校であつた。

- 一着 滋賀師範 タイム不明
 - 二着 八幡商業 差 胸一ツ
 - 三着 本校
 - 四着 長濱商業
- 當日の本校メンバー左の如し
トツア 古川傳三郎
二番 三橋 文男
三番 竹内 禪眞
ラスト 那須原邦男

尙應援に中村、室谷の兩名が随伴した。

第九回滋賀縣中等學校陸上競技大會出場記

十月四日! 時は來た、我等の血は躍つた。

百 米 西川三等で落選せしも岡島恣々一等で入選
二百米 西川、辻川各々一着で入選
八百米 北川恒最後迄よく奮闘せしも及ばず三着にて惜しくも落選す。
八百米リレー豫選 一着 彦中
二着 長商
トラック (一部) 決勝
四百米決勝 室谷奮闘せしも六等にて終る
得點一點
八百米決勝 柴田禮涙ぐましく程頑張りしも七等にて得點なし
千五百米決勝 中村奮闘目覺しかりしも六等にて終る。得點一點
二百米ハードル
室谷善く奮闘して五等となる。
得點二點
八百米リレー決勝
竹内第三コーナーにて倒れ我等は此處に勝機を逸す。得點一點

縣下の選士の融合に一大貢獻を齎すことを想ふと欣快の極であつた。

吾々赤鬼魂の意氣と力が如何に敵を壓し得るか? 今日こそは! 八日市新設設グラウンドに渦く意氣と、力のシューティングを想ふと胸の高鳴を覺は、正々堂々必勝せんと我々は神に誓つた。

朝から物凄く雨だ寒い北風がヒューヒュー吹いてゐる皮肉な天候だ、心配した泣けて來たこんな日に充分力を發揮することが出来るだらうか、あゝ心配だつた。

我等一同は小野、居井、寺本、白田等の諸先生引率の許に滋賀縣体育協會主催縣下中等學校陸上競技大會に参加せんが爲八日市中學大グラウンドに到着した。

朝來の猛雨こそかへつて我々の闘志を倍加せずにはおかなかつた。

當日の戦績左の如し。

トラック (一部) 豫選
百 米 那須原、三橋頑張りしも豫選に

何たる天の悪戯ぞ!! 我等の泪止むる能はず。

(二部) 決勝
百 米 岡島善く頑張り三等と想ひしが審判は五等を宣言せり。得點二點。岡島のレコード一三、六秒これ勝敗の岐點となりぬ若き闘士一同不正に泪をのむ。

二百米 西川、辻川善くがん張り奮闘す西川一等と想ひしが胸一つの差で二位となる、辻川五等で終る得點七點。西川のレコード二七、九秒

八百米リレー決勝
一着 今中 タイム一分五八秒二
二着 彦中 タイム一分五九秒五
三着 大商
四着 八中
五着 水中
六着 長商

得點五點

フィールド決勝 (一部)

砲丸投 藤本奮闘のかひなく等外たり。

棒高跳 棄權

圓盤投 棄權

走巾跳 田中、藤本奮闘のかひなく等外となる。

走高跳 古川六等で終る。走路スパイクを埋める中の奮闘感謝に堪へず。

得點一點

槍投 古川コンデイション悪く優勝の野心ありしも四等となる。得點三點

レコード三四米八七

三段跳 田中孤軍奮闘せしも及ばず等外となる。

(二部)

砲丸投 石田頑張り三等となり、上池之れに續き四等となる。得點七點。石

田のレコード十米三三

走巾跳 岡島、中溝奮闘せしも及ばず等外

のも實に今日の大會だと思ひつゝ一回一回益々意氣は上り行くばかりだ。

諸子よ 傘をさして靴も埋まる泥土の中で開かれてゐる大會を想像してくれ給へ。實にみじめなものでしたよ。然し戰士の意氣、熱勇氣、力は少しも落ちません。益々高鳴る一方です。

水の中を走つてしぶきの上る様は實に壯觀でした。彼の岸の川原の水の中で競馬の行なはれてゐるのを想ひ出させます。

戦半ばにして猛雨も稍々その鋒先をゆるめました。然しグラウンドは依然水つきです。一回一回進められて行きます、どの回にもどの回にも我が赤鬼健兒の意氣にはち切れる程充實し充ち溢れて全く元氣そのものです。

實に斯くあるべきだ我が赤鬼魂は!

此の時白田先生は遠路わざわざ意氣鼓吹に來て下さいました、感謝致します。

自分は選手諸子が猛雨を物ともせず泥土壁土をこれるやうな悪コンデイションの下に最後

となる。

走高跳 中溝奮闘して二位となる上池必死となり四等となる。得點八點。中溝のレコード一、三五米

一部優勝校滋賀師範

二部は今津中學

縣下大會を想起す

競技部 中村 一郎

昭和六年十月四日! 非常に雨の降る日曜日でした。前日から憂鬱な日和でした。當日はどしや降りの雨の中を衝いて我等競技部々員一同は寺本部長及び小野先生居井先生などに付き添はれて、新設八日市中學校グラウンドへと電車に乗り込みました。車中は湖北湖東の戦士で満されました。車中の人隣席に居る若きナイト全部が本日はいゝ好敵手なのだ。どれもこれも大戦の前の勇に満ちてゐると共に何處となく不安の念が面に表はれてゐます。満員の爲め終始立ちんぼうをせなければなり

まで意氣の充實味を見せられたことを深謝致します。そして内心ほんたうに力強く感じました。

殊に一萬米の柴田君が勝敗は既に決した後も最後までバストを盡されたことは實に茲れ赤鬼魂の發露なりと信じて愈々之が普及を念じたものでした實に涙ぐましいものでした。又四川君が連日の野球の疲勞の色も見せず頑張つてくれたことも大書に値します。

若き部員選手諸子よ、有難う、戦は敗れた! 敗れたりと雖も幾多の赤鬼魂の發揮を見たことは愈々意を強くするものであります。殊に二部の如きは同點であり而も茶冠の得られなかつたことは實に残念至極です。そしてその同點たるや審判の不正だ。明瞭なる勝を我に與へざりしは何たる皮肉ぞ、何たる天の惡戯ぞ!

嗚呼! 我等の恨や長し!! 八中グラウンド! 優勝旗授與式表彰式閉會式も終り若き戦士よ萬歳を三唱して解散せられました。(我々一

ませんでした。勇士を滿載した軍用列車の感じです。八日市驛に着いた頃も尚止む氣色もなく盛んに降つてゐました。

八中の講堂は若きナイトの群で一杯になつて居ります。それから開會の式が行はれました。會長のおごそかな式辞は若人の血を湧き立たせました。それからが優勝旗返還式!

彼の大優勝旗に幾多の戦士の魂膽が籠つてゐるんです。過去の歴史の繼續です。意氣、力熱の表徴です。

此の日!!

愈々戦は開かれました。

虎視耽々、練へに練へ待ちに待つた大會の戦端がひらかれたのだ。若人の意氣は上り血は湧き返へり肉は躍つた。猛雨は愈々戦士の勇氣を倍化しました。新設グラウンドの土は未だ固まつて居りません。寒い北風は心身を緊張せしめるに充分でした。

開部以來稀々として振はなかつた我が競技部の名をして湖東の地八日市に花を咲かせる

同は涙に咽びつゝ泥グラウンドを後に歸路に就きました、そして聲高らかに一中校歌を高唱しつゝ……

最後に一中競技部萬歳を想ひ戦士に感謝しつゝ別れました。そして、ク一中のマークの上に幸あれクと祈るのでした。(終り)

長濱商業運動會

メドレリレー參加の記

十月十日 土曜日! 小野先生引率の下に我等は長濱商業運動會メドレリレーに参加した。當日は滋賀師範、八幡商業、本校、彦根工業、彦根商業、虎姫中學の六校が戈を交へた結果滋賀師範の優勝する所となつた、我等はバストを盡して戦つたが空し。

戦績左の如し。

第一着 滋賀師範 記録 四分二九秒

二着 八幡商業

三着 本校 記録 四分四二秒四

四着 虎姫中學

五着 彦根工業

彦根商業 棄權

直當日の本校メンバー左の如し

一番 那須原邦男

二番 室谷 隆一

三番 柴田 禮二

四番 三橋 文男

彦根商業運動會參加の記

十月十六日 金曜日!

我等は今日こそは優勝せんものと元氣百倍先輩室内勇藏氏の後援もあり、寺本先生引率の下に彦根商業グラウンドに向つた、天氣晴快我等の門出を祝してゐた。

當日は彦根工業、長濱商業、本校の三校が覇を争うた。

我等は終に優勝した。あゝ快なる哉

我等はこゝに八百米リレー新記録を作り得たことは實に天に感謝すべきである。あゝ六百の健兒よ、此の記録を見られよ。而して其

の努力を認められよ。當日の戦績左の如し。

一着 本校 記録 (一分四五秒二)

二着 長濱商業

三着 彦根工業

當日の本校メンバー左の如し。

一番 古川傳三郎

二番 室谷 隆一

三番 三橋 文男

四番 那須原邦男

大津商業運動會參加の記

十月二十五日 日曜日!

我等は日曜日を利用して大津商業遠征を試み一昨年の恨を晴さんものと試験で練習不足ながら出場した。

されど天は我を認めず、又もや八幡商業に勝を許した事は、甚だ残念! 後輩よ、今日の恨は必ず晴らせよ。

參加校 八幡商業、本校、京都花園中學
當日の戦績左の如し。

一着 八幡商業 タイム 一分四七秒五

二着 本校 タイム 一分四九秒二

三着 花園中學

本日のメンバー左の如し。

一番 古川傳三郎

二番 北川宗四郎

三番 三橋 文男

四番 那須原邦男

滋賀師範リレー參加の記

十月二十五日 我等は大津商業のリレー終るや直に滋賀師範運動會に參加した。

此處に於ても又勝を八幡商業に敗れたことは何たることか我等の實力なきか。許せ六百の健兒!

當日の戦績左の如し。

一着 八幡商業 記録 一分四四秒九

二着 本校 記録 一分四六秒二

その時のメンバー左の如し。
一番 那須原邦男

- 二番 三橋 文男
- 三番 室谷 隆一
- 四番 古川傳三郎

彦根工業運動會參加の記

十一月三日 我等は彦根工業運動會八百リレーに出場した。

當日は參加校は本校のみ、戦績左の如し。

一着 本校 タイム 一分四七秒五

當時のメンバー左の如し。

一番 古川傳三郎

二番 室谷 隆一

三番 三橋 文男

四番 那須原邦男

◇回顧

回顧して今私は何も述べることはない。一切過去を追ふなかれ、そして六百の健兒よ、進め!

一、光は東より 競技は力

アジヤの子等よ 諸共に

祖國の前に 奮ひ立て

今こそ皇月の うしほのとどろき

いざ戦はん 健やかに

二、光は東より 競技は力

世界の猛者に さきがけて

祖國の旗を ひるがへせ

若葉にそびゆる 高嶺のかがやき

いざ聞はん 鮮やかに

(極東大會の歌)

六百の健兒よ、今年も往つた、淋しく往つた、暫くすれば又一陽來復の春は甞だ、健兒達よ。

眠れるものは起て! 起てるものは急げ! げに繚蘭の花園へ、スポーツの野へ、吾人は眞の享樂と満足をスポーツの中に求めんとしてゐる! 眼を射るやうに白いコースライン ショットの閃き、スパイクのきざみ、空を縫ふ銀箭のうなり、吾等の魂を奪ふ誘惑だ、未展開の來年の春の姿はこれだ。往日の跡を

追ふ莫れ。來日の香を迎ふる莫れ。吾等は唯

吾等の爲に精進すればよいのだ。急げ! スポ

ーツの野へ! 急げ (去り逝く者の叫び)

第二回本校對彦商對抗

試合之記

十一月廿、廿一日の兩日にわたり、本校競技場に於て彦商と四年以下選手の對校試合を行ふ。前日は曇天に西風強く寒き強きため各選手は苦戦し記録悪し。當日の戦跡を左に記さん。

トラックの部

百 米 一着 那須原(中) 一二秒四

二着 夏川(商)

三着 三橋(中)

二百 米 一着 那須原(中) 二六秒二

二着 三橋(中)

三着 北川宗(中)

四百 米 一着 那須原(中) 一分一秒七

二着 室谷(中)

四百里専門の竹内、柴田禮兩選手病氣のため短距離の那須原出場す、四百を走りしこゝは初めなりしも樂に一着なる。

八百米 一着 大橋(中) 二分二七秒
 二着 北川恒(中)
 三着 朽木(中)
 千五百米 一着 大橋(中) 五分二秒
 二着 北川恒(中)
 三着 小財(商)

八百米繼走 一着 彦中チーム
 那須原、室谷、北川宗、三橋 一分四七秒四

ブイールドの部

砲丸投 一等 小財(商) 一一米六九
 二等 藤本(中) 一〇米二四
 三等 福原(商) 九米八五
 槍投 一等 堀(商) 三八米九四

二着 吉田(商) 三八米一〇

三等 藤本(中) 三四米二〇

圓盤投 一等 小財(商) 三〇米

(縣記録を破る)

二着 室谷(中) 二二米二四

三等 近藤(商) 二〇米九九

走高跳 一等 外村(商) 一米五〇

三等 上池(中) 一米四五

走巾跳 一等 外村(商) 五米三六

二等 近藤(商) 五米三五

三等 福原(商) 五米〇八

三段跳 一等 福原(商) 一一米二五

二等 近藤(商) 一〇米四八

三等 室谷(中) 一〇米四五

棒高跳 一等 外村(商) 二米三〇A

二等 藤本(中) 二米二五

得点表

校名	彦		計	丸	盤	高	巾	段	高	計	得
	中	商									
100	4	2	4	4	4	5	6	5	4.5	33.5	
200	6	0	6	5	4	5	6	5	4.5	37.5	
400	5	1	6	6	5	6	5	5	4.5	37.5	
800	6	1	7	6	5	6	5	5	4.5	37.5	
1500	5	1	6	5	4	5	6	5	4.5	37.5	
8000	3	1	4	3	2	1	2	1	1.5	8.5	
ト	29	4	33	29	2	1	2	1	1.5	37.5	
得											
砲											
槍											
圓											
走											
三											
棒											
フ											
イ											
ール											
得											
計											
得											
計											
得											
計											
得											
計											
得											
計											
得											
計											
得											
計											

本年度競技部最高記録保持者

「トラック」
 百 米 一一秒九(新) 三年 那須原邦男

二百米 二五秒五(新) 三年 那須原邦男
 四百米 一分一秒四(新) 四年 竹内 禪眞
 八百米 二分二七秒(新) 三年 大橋 義造
 千五百米 四分五秒七(新) 五年 澤田平三郎

八百米繼走 一分四五秒二
 五年 古川傳三郎
 四年 室谷 隆一
 四年 三橋 文男
 三年 那須原邦男

「フィールド」

走巾跳 五米二七 五年 古川傳三郎
 走高跳 一米五五A 三年 種村 敏雄
 三段跳 一一米一三 五年 澤田平三郎
 砲丸投 一〇米二四 三年 藤本 富雄
 圓盤投 二三米四七 三年 種村 敏雄
 槍投 三七米五七(新) 五年 古川傳三郎
 備考(新) は昭和三年度以後に於ける新記録
 右の各記録は各大會に於て作りし記録なり。

水泳部々報

黄金時代現出か強剛栗農をして恐怖の念を起さしめ縣下水泳界のマークホースとして注目せられた昨年度水泳部は惨敗又惨敗に終つてしまつたのでした。此の苦盃をなめた我

々は九月に入るや直に新チーム編成、行樂の秋を外に見て木の葉の落つると共に十月下旬練習を打ち切つたのでした。

四月中旬再び木の葉の芽ぐむと共に息もつまる様な冷水の中を唯瀬瀬を目標して練習を開始しました。

五月六月と時の過ぐるにつれ水銀の昇るにつれて練習も烈しくなつて行き最初の大會栗農主催近府縣中等學校競泳大會を迎へました。然し本年最も活躍を期待せし坂野君を失つた上に五十米に強い松田君の引退此の打撃を受けた我々はリレーメンバー作成に最も苦心し新人杉本君を得て幾分心を強うしたとはいへ我部の得意とする二百米リレーに於て其の打撃は如實に現れました。

栗農主催近畿中等學校

競泳大會出場之記

六月一日 我等七名の選手は本年度最初の大會に日々の猛練習にて鍛へた腕を以て我が

威力を示すべく出場せり。午前九時大會は愈々二百米リレーより開始せられた。當日の戦績次の如し。

豫選の部

二百米リレー(本校杉本、森、宮川、林)五着
 二番森迄大商、和商、小牧中、京二商と接戦を續けて入選すると思はれたが三番宮川調子上らず大垣商を抜いたのみにて落つ。タイムは二分十二秒。一着大商、二着和商。
 八百米フリー 森は四百米邊迄斷然トップを切つて居たが足痠撃のため途中にて棄權す
 二百米フリー 林は強剛の組に入り全力を擧げて奮闘したが惜しくも四着となる。タイム二分四十五秒。
 百米バツク 井口 一着 タイム 一分二十秒
 井口の健闘目ざましく強敵山田(大垣商)を破つて入選す。
 百米フリー 林 二着 タイム 一分十二秒
 林始めよりよく頑張つて二百米に於ける辱を雪ぐ。一着は志知(岐商) 三着西本(和商)

杉本 四着 タイム一分十五秒一

○組には強剛多く前半よく頑張り一着であつたがゴール前でへたばり惜しくも落つ。一着は西村(大商)

二百米プレス

藤本 三着 タイム 三分二十

藤本後半非常な力泳で平井(京二商)川崎(和商)に迫つたが僅かの差で三着となり入選す。一着は平井。

中村 三着 タイム 三分三十四秒

B組に出た中村は相手強く、又日頃の練習タイムも出し得ず惜しくも落つ。

準決勝の部

百米フリー 林 三着 タイム 一分十二

林三着で悠々準決勝を通過し決勝へ進む。

百米背泳。二百米胸泳。八百米継泳は準決勝行はれず直ちに決勝となる。

決勝の部

百米フリー 一着 志知(岐商) タイム 一分九秒

二着 服部(岐商)

三着 西村(大商)

四着 西本(和商)

五着 林(本校) タイム 十二分

林一コースで歸りには相手が見えず不利であつたが六十米邊からぐんぐん出て八十米邊では二位となる。けれども惜しい所で疲れを見せ五着となる。得點一點。

百米バツク 一着 角田(彦商) 十二分二

二着 久保(京三中)

三着 山田(大垣商)

四着 土浦(和商)

五着 井口(本校) 一分二

井口前半土浦、山田と並行して進み八十米邊で抜く様に見えたが、タツチの差で惜しくも五着となる。得點一點。

二百米プレス

一着 向井(岐商) 三分十五

二着 川崎兄(和商) 秒八

三着 川崎弟(和商)

四着 藤本(本校)

五着 中村(膳中)

御大藤本真中のコースで隣に強者向井を置いてスタートするや俄然接戦を演じ百米迄七人共並行して進む。藤本ラスト五十米を猛烈にビツチをあげ四着となる。得點二點。八百米リレー

一着 (岐商) 十分五十八秒

二着 (今中)

三着 (和商)

四着 (大津商)

五着 (京二商)

六着 (本校森、宮川、林、杉本)

我がチーム全力を盡しての力泳も空しく等外に落つ。

参加校十三。優勝校岐阜商業、本校第七位得點四點

惨敗此の二字から我々は如何に逃れんと努力したか。しかし我々は又くりかへした。泣くにも泣けず、重い心を抱いて再び練習を續けました。そして學生としての難關學期末試

三着 中村 真雄(一年)

決勝

二百五十米自由型、三着迄入賞

一着 中島 正之(五年)

二着 百々 尙三(三年) 三十七秒

三着 中村 一郎(五年) 四十秒

一部五十米自由型、三着迄入賞

一着 石田 秀宏(二年)

二着 山原 仁雄(二年) 四十五秒

三着 太田 元夫(二年) 四十六秒

一部五十米平泳、三着入賞

一着 喜久 川(五年)

二着 清水 光一(五年)

三着 堀部 久光(三年)

一部五十米平泳、三着迄入賞

一着 石田 秀宏(二年)

二着 山原 仁雄(二年) 四十五秒

三着 太田 元夫(二年) 四十六秒

一部五十米自由型、三着迄入選

二着 山原 仁雄(二年)

三着 堀部 久光(三年)

一部五十米自由型、三着迄入選

二着 山原 仁雄(二年)

三着 堀部 久光(三年)

一部五十米自由型、三着迄入選

二着 山原 仁雄(二年)

三着 堀部 久光(三年)

験を氣分轉換の好機とし試験後同志社大學の横田氏をコーチャーとして迎へ、縣下大會を目標して猛練習を續けました。そして松田君の復活は我々の心を一層強くせしめました。

第一回校内競泳大會記

本年より始めて校内競泳大會が開催されることになつた。

七月二十三日 當日は絶好の天候に恵まれて午後二時より始まる。プールの飛沫に約三十名の河童連は元氣に滿ち溢れて息詰まるやうな接戦を續け、好記録續出した。當日の記録次の如し。

一部は二年以下二部に三年以上とす。

豫選

一部五十米自由型、三着迄入選

ベストフォース一名入選

A組 一着 石田 秀宏(二年)

タイム 三十四秒六

二着 山原 仁雄(二年)

一部五十米胸泳、三着迄及びベストフォース一名入選。

A組 一着 石田 秀宏(二年)

タイム 四十四秒六

二着 杉本 浩(二年)

三着 太田 元夫(二年)

四着 堀 陸夫(二年)

ベストフォース

B組 一着 大橋 文吉(一年)

タイム 四十八秒四

二着 木野戸勝彦(一年)

B組 一着 木野戸勝彦(一年)

タイム 四十八秒

二着 福川重太郎(一年)

三着 島本 八郎(一年)

四着 富士原 知(一年)

一部五十米胸泳、三着迄及びベストフォース一名入選。

A組 一着 石田 秀宏(二年)

タイム 四十四秒六

二着 杉本 浩(二年)

三着 太田 元夫(二年)

四着 堀 陸夫(二年)

ベストフォース

B組 一着 大橋 文吉(一年)

タイム 四十八秒四

二着 木野戸勝彦(一年)

- 二着 木野戸勝彦(二年)
- 三着 大橋 文吉(一年)
- 同着 杉本 浩(二年)

此のレースで石田、木野戸、大橋、杉本は最初より白熱的接戦を演じ、二、三着は殆んど同時にゴールに入る。

- 一着 杉本 浩(二年)
- 二着 清水 光一(五年)
- 一着この差半米

清水三十米迄断然トップを切つて居たが、俄然杉本力泳して四十米で並行、ゴールでは半米の差で杉本一着となる。

- 百米自由型
- 一着 中島 正之(五年)
- 二着 山原 仁雄(二年)
- 三着 岩松 陸(二年)
- タイム 一分四十秒

二百米自由型

- 二着 林 (本校) 一分十一秒二
- 三着 中村(大商)
- 四着 堤中(今中) 一分十三秒二

林前中四位であつたが後二十米を頑張リ二着となる。

堤中はベストフォー入選す。

- 二百米胸泳豫選
- A組 一着 北野(栗太) 三分二十三秒
- 二着 杉橋(今中) 三分三十秒
- 三着 中村(本校) 三分三十四秒五

中村ベストを盡したが甲斐あらず三着となり落選す。

藤本悠々二着にて入選す。小島はベストロードに入選す。

百米背泳決勝

- 一着 喜久川(五年) タイム
- 二着 中村 一郎(五年)
- 三着 岩松 陸(二年)

第八回縣下中等學校水泳大會

日々規則的猛練習を積んだ腕を扼して、會場栗農プールに向ふ。

- 二百米リレー豫選。本校B組に出場
- 一着 大津商業 二分二秒八(新記録)
- 二着 本校 二分五秒二(同)

第二泳者森迄大商と並行三番松田少しリドされ、ラスト林追へども及ばず二着となる。

- 百米背泳豫選
- B組 一着 角田(彦商) 一分二十五秒二
- 二着 井口(本校) 一分二十五秒四
- 三着 山元(栗農)

井口の力泳又力泳ぐんぐんと角田との差をちりめあはや抜かんとせしがタツチの差で二着となる。

- 一着 稻升(栗太) 一分二十一秒
- 二着 角田(彦商)
- 三着 井口(本校) 一分二十五秒二
- 四着 杉本(本校) 一分二十六秒六
- 五着 佐藤(大商)
- 六着 清水(水中)

井口、杉本共に本校の爲に氣を吐き、三、四着を占め七點を獲得す。

- 二百米リレー決勝
- 一着 大津商 二分三秒六
- 二着 今中 二分五秒
- 三着 本校 二分五秒
- 四着 栗農
- 五着 彦商
- 六着 膳中

各人皆よく健闘し今中と殆んど同着で二着となつたかと思はれたがタツチの差で三着となる。得點四點

百米自由型決勝

- 一着 西村(大商) 一分九秒四

- C組 一着 清水(水中) 一分二十七秒二
- 二着 杉本(本校) 一分二十七秒三
- 三着 佐藤(大商) 一分二十七秒四

杉本九十五米邊迄清水佐藤を僅かにリードして來たが、最後の瞬間に二着となる、三者殆んど同時なり。

- 百米自由型豫選
- C組 一着 花房(大商) 一分十一秒四
- 二着 林(本校) 一分十四秒二
- 三着 村田(八商)

林始めから二位を保つてそのまま入つて二着となる。

- 四百米自由型豫選
- A組 一着 杉江(栗太) 五分三十八秒六
- 二着 高田(彦商)
- 三着 森(本校) 六分二十一秒

森三百米迄二位であつたが、調子悪く三着となり落選す。

- 百米自由型準決勝
- A組 一着 西村(大商) 一分九秒
- 二着 竹谷(膳中) 一分十秒七
- 三着 林(本校) 一分十秒八
- 四着 花房(大商) 一分十秒九
- 五着 堤中(今中)
- 六着 中村(大商)
- 等外 岩佐(今中)

西村一人飛び出し竹谷、林、花房は終始接戦しつゝ進み、二、三、四着は殆んど同時であつた。得點四點

- 二百米胸泳決勝
- 一着 大橋(栗太) 三分二十一秒
- 二着 北野(栗太)
- 三着 島本(今中)
- 四着 藤本(本校) 三分二十六秒
- 五着 遠藤(大商)
- 六着 杉橋(今中)
- 等外 小島(今中)

藤本日頃の調子出す惜しくも四着となる。

三、四着はタツチの差。得點三點

八百米リレー決勝

- 一着 栗太農 十分三十七秒四
- 二着 今津中
- 三着 大津商
- 四着 本校 十一分三十三秒七
- 五着 彦根商
- 六着 膳所中

トップに於ては栗農、今中、大商、膳中、本校(杉本)の順にて進む。第二泳者目加田よく健闘して膳中を抜き、更に五米の差をつめる。第三泳者森及びラスト林は三十米前方の今中、大商を追つて力泳したが、此の差如何さもし難く遂に四着となる。

参加校九校、優勝校栗農、本校第四位得點二十一點

大栗栗農斷然他を引き離して優勝我々も力闘せしが及ばず、好敵手膳中を引き離せしが新進大商に敗る。

第六回京都滋賀對抗競泳大會

本校より滋賀縣代表として林、井口の二君

を送る。

井口百米背泳に出場。四着、一分二十五秒七十六點對六十點にて滋賀軍勝つ。

明治大學主催關西中等學校競泳大會

縣下大會後間もなく此の大會に出場することになつたが、選手の調子揃はず敗退す。

當日の出場選手は藤本、林、松田、杉本、森、井口の六名。記録左の如し。

二百米リレー。棄權多き爲豫選無く午後の部に廻さる。

二百米自由型豫選

B組 一着 堀尾(栗太)

二着 竹谷(膳中)

三着 井上(大商)

四着 林(本校)二分四十六秒

林此頃スランプにかゝり調子非常に悪く四着となり落つ。

C組 一着 森(本校)二分四十七秒

二着 川邊(大商)

三着 山崎(京二中)

今迄の大會に調子悪かつた森は、此の大會より漸く調子出て樂に一着となり入選す。二着を離す、こ約三十米。

二百米胸泳豫選

D組 一着 島本(今中)三分二十五秒

二着 藤本(本校)三分二十六秒

三着 岩田(京二商)

百米自由型豫選

A組 一着 竹谷(膳中)一分二十二秒六

二着 墨友(今中)

三着 林(本校)一分十三秒八

四着 筒井(栗太)

林百米に於ても調子悪くして振はず漸く三着となり入選す。

D組 一着 西村(大商)

二着 丹田(京二商)

三着 岩佐(今中)

四着 松田(本校)一分十四秒八

松田初めに力を餘り出し過ぎ後半スピード落ち惜しくも四着となる。

百米バツク豫選

C組 一着 井口(本校)

二着 山元(栗太)

井口樂に泳いで他を斷然離し一着となる。

百米自由型準決勝

B組 一着 西村(大商)

二着 林(本校)一分十二秒八

三着 丹田(京二商)

林よく頑張り調子悪くとも二着となり決勝へ入る。

二百米胸泳準決勝

一着 北野(栗太)

二着 藤本(本校)

三着 平居(京二商)

藤本樂々二着となり決勝へ進む。

二百米自由型準決勝

B組 一着 川邊(大商)二分四十三秒八

二着 森(本校)二分四十四秒

四着 藤野(今中)

五着 森(本校)

六着 川邊(大商)

森ベストを盡して泳いだが及ばず五着となる。四着との差僅少なり。

二百米胸泳決勝

一着 前田(東山中)三分十五秒八

二着 北野(栗太)

三着 大橋(栗太)

四着 藤本(本校)三分二十二秒

五着 島本(今中)

二、三、四着の差は僅少で藤本入賞するかと思はれたが僅かタツチの差で四着となる。

百米自由型決勝

一着 花房(大商)一分九秒二

二着 堤中(今中)

三着 西村(大商)

四着 竹谷(膳中)

五着 林(本校)

六着 丹田(京二商)

森ベストを盡しておよいだが、及ばず五着となる。四着との差僅少なり。

二百米胸泳決勝

- 一着 前田(東山中) 三分十五秒八
 - 二着 北野(栗太)
 - 三着 大橋(栗太)
 - 四着 藤本(本校) 三分二十二秒
 - 五着 島本(今中)
- 二、三、四着の差は僅少で藤本入賞するが、思はれたが僅かタツチの差で四着となる。

参加校十一、得点二點、順位六位
 此の大會を一轉機として我々は全くスラン
 プより脱し切り身体の調子よくなるよき好記
 録續出長き夏休みを愉快に練習を積みまし
 た練習中の記録左の如し。

校競泳界の大剛栗農には及ばずとも仇敵大商
 を打破りあわよくば昨年度優勝校岐阜商業の
 牙城を落すべく元氣一ぱいに大會の来るを待
 ち構へておました。

彦根高商主催近府縣中等
 學校競泳大會

九月六日午前八時ビストルショットにより
 て大會の火蓋は切られた。我々のコンデイシ
 ョン非常に好し。

- 百米自由型決勝
- 一着 花房(大商) 一分九秒二
 - 二着 堤中(今中)
 - 三着 西村(大商)
 - 四着 竹谷(膳中)
 - 五着 林(本校)
 - 六着 丹田(京二商)

- 四百米 杉本 五分五秒一
- 背泳 杉本 井口 一分二四秒六
- 平泳 藤本 三分十八秒 西村三分二五秒
- 二百米リレー 二分四秒六(森、松田、杉本、林)
- 八百米リレー 十分五十九秒四(井口、森、杉本、林)

- 二百米リレー 豫選
- A組 一着 本校(森、松田、杉本、林) 二分四秒七
- 二着 岐商
- 三着 大垣商
- 四着 膳中

林よく頑張つたが及ばず惜しくも五着となる、タイム一分十二秒。
 八百米リレーは棄權す。

林強剛花房長村を相手によく奮闘し一分九秒二の好タイムによりベストサイドにて入選す。

先ず大敵岐商を楡玉に上げ皆氣をよくす。
 八百米自由型

- 二着 松井(四日市商)
 - 三着 目加田(本校) 十四分〇秒八
- 新進目加田よく奮闘して三着となりしもタイム悪く惜しくも落選。

- A組 一着 服部(岐商) 五分五十九秒
- 二着 森(本校) 五分五十九秒八
- 三着 川邊(大商)

- B組 一着 堀尾(栗農) 二分三十三秒八
- 二着 林(本校) 二分三十六秒
- 三着 竹谷(膳中)

- A組 一着 鈴木(四日市商) 三分二十三秒
- 二着 西村(本校) 三分二十五秒
- 三着 向井(岐商)

林強剛花房長村を相手によく奮闘し一分九秒二の好タイムによりベストサイドにて入選す。

井口は縣下の覇者栗農の稲升と大垣商の勇者山田と又々顔が會ひ非常な苦戦であつたが遂に二着となり入選す。

- A組 一着 藤本(本校) 三分十七秒五
- 二着 北野(栗農) 差三米

森終始頑張り通しあはや服部を抜かんとしたが僅かの差で二着となり入選す。川邊は森にはるかに遅れる。

林は全國の猛者堀尾と終止接戦して竹谷をはるかにリードして二着となり入選す。

- C組 一着 藤本(本校) 三分十七秒五
- 二着 北野(栗農) 差三米

杉本は百米背泳に差支ゆる爲中途にて棄權す。

- A組 一着 栗太農學 三分五十八秒
- 二着 本校(杉本、藤本、林) 四分四秒
- 三着 大商

- 百米自由型
- A組 一着 花房(大商) 一分八秒四
- 二着 長村(岐商) 新記録
- 三着 林(本校) 一分九秒二

藤本、北野と接戦しつつ進み後五十米よりぐんぐんピッチを上げ大會新記録を作つて一着となる。

此のレースでは楽に泳いで二着となり入選す。大商を離すこと約十五米。二番の藤本は百米を一分二十七秒の好記録でおよいだ。杉本は一分二十六秒、林一分十秒。

- 百米自由型
- A組 一着 花房(大商) 一分八秒四
- 二着 長村(岐商) 新記録
- 三着 林(本校) 一分九秒二

- C組 一着 稲升(栗農) 一分二十秒
- 二着 井口(本校) 一分二十四秒五
- 三着 山田(大垣商) 入選

此れで豫選は終り午後より決勝に移る八百